

平成 28 年度

事業報告書

社会福祉法人 地域で一緒に暮らそう会

1. はじめに

法人設立5年目である平成28年度の最大の懸案事項は何と言っても、重度障がい児・者への正しい理解と人権尊重を地域に広げ、親亡き後も**地域で当たり前**に**共に安心して暮らせる社会**を願い、利用者に働く喜びを実感して頂く、多機能型施設「地域サポートセンターえがお」の建設でした。

この事業は昨年3月31日に国の事業許可を得て着工、そして本年3月中旬に建物が完成し、その後各部署が連携して移転を開始し、今日に至っています。この間、用地や資金繰りなど多くの課題がある中、幾多の困難を乗り越え、法人理事や評議員・職員の皆さんの奮闘のおかげをもって生活介護、B型就労等の事業開始にこぎつける事が出来ました。

この度の「えがお」の建設にあたり、法人資金計画において福祉医療機構より長期返済（2年据置20年返済）による融資（1億5千万円）を受けました。責任の重大さに身の引き締まる思いであり、今後、**堅実で着実な財政・事業運営**に務めるべきと強い決意をもって臨む所であります。

また、当事業所では3/31現在利用者139名の自立と療育に向け、62名の職員が「利用者目線」を大切に丸となり、一人一人の思いに寄りそう支援を日々真剣に行っています。

何と言っても障がい福祉の事業所は職員が頼りです。事業拡大に向け職員体制が十分でなければ何も出来ません。その為には職員の技術力向上！が何よりも大切と考えます。

今後、職員がさらに意欲を持ち、**自信と誇り、やりがい**を持って勤務が出来る、そういう**魅力にあふれた職場環境**を作る事が大切であります。理事者も職場で職員と共に真剣に学び合い成長しよう事が大切です。

今回の新たなる事業展開に向け、それぞれの部署の職員の能力の向上や意欲などの**スキル向上策**がなお一層大切であるとの考えから、これまで正職員中心だった道社協主催等の各種研修や、専門職研修の参加者の範囲を、**準職員までに拡大**しました。この事は職員に**新たなる気付きや、能力や意欲等スキルの向上や、研修後の現場対応に確かな成長を感じる事ができ**、法人としての**拡大成果を実感**する事が出来ました。今後とも職員の技術向上策として、さらに積極的に職員研修に力を注いで参りたいと思います。

また、当法人が医療的ケアの必要な重度心身障がい児対象の発達支援事業をスタートさせてからまる4年が過ぎました。この間、看護師の採用や定着に苦慮しながら、地域にある困り感の解消に向け、医療的ケアを必要とする子ども達が家で暮らせる社会づくりを目指して、法人の社会貢献事業として位置づけ、**採算を度外視しながら在宅支援**の一部を担ってきました。それは「家族と本人を支える環境さえ整えばその子ども達も自分の家で**家族と一緒に当たり前**に暮らすことが出来る」そして「その**選択**が出来る」との思いのもと、お母さん達の献身的な介護を助けたいとの強い思いからであります。

年度初め、正職員1名、非常勤3名の看護師体制も年度末には、非常勤看護師1名となり利用者及び家族の皆さんには事業継続が出来るのか等の、ご心配やご迷惑をかけてしまい看護師採用（確保）の厳しさを思い知らされる1年でした。

平成29年度は、更に覚悟をもって、常勤の看護師の増員をと考えていたところこの度、北海道

の新規単独事業として福祉型短期入所事業所等における医療的ケア児の常勤看護師採用において、人員基準より多く配置している事業所に対し、年間の延利用回数に応じて看護師の人件費見合い分を補助するという促進事業が創設されました。この事は長年に渡って法人が「道」に求め続けてきた事であり、経営上、この上ない喜びであります。道内の在宅福祉型短期入所事業所等を増やす先駆けとして、地域福祉向上の役割を果たし得たものと確信をしております。

最後にこの一年間の、利用者の家族との日常における連携についてであります。法人側としてはなかなか時間が取れず、まだまだ充分ではなかったのではと反省をしています。

新年度は、それぞれの事業所ごとの家族の皆さんと**更なる信頼関係**を気付き合う為にも、法人として茶話会の開催等、**懇談の場の設定**が必要との思いであります。

それぞれの思いに心をはせ、共に支え、応援し合う、その環境作りに向け、もっと知恵や汗をかくことを大切にしたいと思っております。

平成 29 年度法人、職員、利用者・家族の皆さん達と、心ひとつに共に在宅生活を支えあえるよう全力で頑張ることをお約束申し上げ、事業報告とさせていただきます。

2. 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会について、次のとおり開催された。

	開催日	参加数	議案等
第 1 回	5 月 22 日	理事 6 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第 1 号 平成 27 年度 事業報告について ・議案第 2 号 平成 27 年度 決算報告 (財務諸表) 及び監査報告について ・報告第 1 号 仮称「地域サポートセンターえがお」の新規事業進捗状況について
第 2 回	5 月 28 日	理事 5 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第 1 号 平成 27 年度事業報告及び決算報告、監査報告の第 1 回評議員会における承認事項の可決について
第 3 回	6 月 30 日	理事 6 名	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第 1 号 仮称) 地域サポートセンター資金計画について ・議案第 2 号 仮称) 地域サポートセンター施設整備事業 (外構工事含む) に係る入札について ・議案第 3 号 指名検討委員会の設置について ・議案第 4 号 仮称) 地域サポートセンター建設予定地の開発行為について ・報告第 1 号 補助金申請について

第4回	8月9日	理事5名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 仮称) 地域サポートセンターえがお入札結果について ・議案第2号 役員の報酬及び費用弁償に関する規程の改定について ・議案第3号 正規職員給与規程及び準職員給与規程の改定について ・報告第1号 音更町鈴蘭学童保育所及び下音更学童保育所運營業務プロポーザル参加について ・報告第2号 助成金の申込について
第5回	10月29日	理事4名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 仮称) 地域サポートセンターえがおの名称について ・議案第2号 地域サポートセンターえがおの備品(調理場、喫茶スペース、就労支援事業スペースの厨房機器)取得について ・議案第3号 正規職員就業規則の一部改定について ・議案第4号 正規職員給与規程の一部改定について ・議案第5号 準職員就業規則の一部改定について ・議案第6号 準職員給与規程の一部改定について ・報告第1号 監査報告(4月～6月及び7月～9月)
第6回	11月12日	理事6名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 地域サポートセンターえがお備品(特殊浴槽)取得について ・議案第2号 地域サポートセンターえがお備品(事務用品)取得について ・議案第3号 地域サポートセンターえがお備品(パソコン)取得について ・議案第4号 地域サポートセンターえがお備品(コピー複合機)取得について ・議案第5号 地域サポートセンターえがお電話機設置設定工事について ・議案第6号 地域サポートセンターえがおLAN環境設定工事について ・議案第7号 地域サポートセンターえがお地域交流スペース家具について ・報告第1号 地域サポートセンターえがおの備品

			(調理場、喫茶スペース、就労支援事業スペースの厨房機器) 契約金額変更について
第7回	11月24日	理事6名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 地域サポートセンターえがお備品(特殊浴槽) 入札結果について ・議案第2号 地域サポートセンターえがお備品(事務用品) 入札結果について ・議案第3号 地域サポートセンターえがお備品(パソコン) 見積合わせ結果について ・議案第4号 地域サポートセンターえがお備品(コピー複合機) 見積合わせ結果について ・議案第5号 地域サポートセンターえがお電話機器設置設定工事見積合わせ結果について ・議案第6号 地域サポートセンターえがおLAN環境設定工事見積合わせ結果について ・議案第7号 地域サポートセンターえがお地域交流スペース家具見積合わせ結果について
第8回	12月19日	理事6名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 補正予算について ・議案第2号 地域サポートセンターえがお備品(食品乾燥庫) 取得について ・議案第3号 きらきはうす介護リフト取得について
第9回	12月24日	理事5名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 平成28年度第1回補正予算における承認事項の可決について ・議案第2号 地域サポートセンターえがお備品(食品乾燥庫) 見積合わせ結果について
第10回	2月4日	理事6名	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 社会福祉法改正による定款変更について ・議案第2号 常勤役員報酬規程を廃止する規程制定について ・議案第3号 役員の報酬及び費用の弁償に関する規程を廃止する規程制定について ・議案第4号 役員等報酬規程制定について ・議案第5号 出張旅費規程の改定について ・議案第6号 役員規程の改定について

			<ul style="list-style-type: none"> ・議案第7号 評議員選任・解任委員会運営規則について ・議案第8号 次期評議員の選定について
第11回	2月11日	理事5名	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 社会福祉法改正による定款変更における承認事項の可決について
第12回	3月18日	理事5名	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 平成29年度事業計画及び予算について ・議案第2号 地域サポートセンターえがおのカーテンの購入について ・議案第3号 次期評議員の推薦について ・議案第4号 地域サポートセンターえがお登録免許税の免除申請について
第13回	3月25日	理事6名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 平成29年度事業計画及び予算における承認事項の可決について ・議案第2号 地域サポートセンターえがおカーテン購入見積もり合わせ結果について ・議案第3号 正規職員及び準職員の就業規則改定について ・報告第1号 評議員選任、解任委員会の議決事項について

(2) 評議員会について、次のとおり開催された。

	開催日	参加数	議案等
第1回	5月28日	評議員9名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 事業報告について ・議案第2号 平成27年度 決算報告(財務諸表)及び監査報告について ・報告第1号 仮称「地域サポートセンターえがお」の新規事業進捗状況について
第2回	12月24日	評議員12名	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 平成28年度 第1回補正予算について ・報告第1号 地域サポートセンターえがお一般競争入札結果について ・報告第2号 地域サポートセンターえがお指名競争入札(特殊浴槽)結果について ・報告第3号 地域サポートセンターえがお指名競争入札(事務用品)結果について ・報告第4号 地域サポートセンターえがお進捗状況について

			<ul style="list-style-type: none"> ・報告第5号 正規職員就業規則の一部改定について ・報告第6号 正規職員給与規程の一部改定について ・報告第7号 準職員就業規則の一部改定について ・報告第8号 準職員給与規程の一部改定について
第3回	2月11日	評議員12名	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 社会福祉法改正による定款変更について ・報告第1号 常勤役員報酬規程を廃止する規程制定について ・報告第2号 役員の報酬及び費用の弁償に関する規程を廃止する規程制定について ・報告第3号 役員等報酬規程制定について ・報告第4号 出張旅費規程の改定について ・報告第5号 役員規程の改定について ・報告第6号 評議員選任・解任委員会運営規則について
第4回	3月25日	評議員13名	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 平成29年度事業計画及び予算について ・議案第2号 理事の選任について

3. 事業運営について

(1) 第二種社会福祉事業

- ・障害者福祉サービス事業の経営
- ・相談支援事業の経営
- ・移動支援事業の経営
- ・障害児通所事業の経営

(2) 公益を目的とする事業

- ・地域生活支援事業
- ・レスパイトサービス事業
- ・共生型事業
- ・訪問看護事業（休業届提出中）

(3) 平成 28 年度の利用状況 (平成 29. 3. 31 現在)

① 18 歳以上

	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	区分 1	利用者合計
人数	7	8	5	3	1	0	24 人

② 18 歳未満 (きらきはうす)

放課後デイサービス (定員 15 名)・児童発達支援 (定員 5 名)

	医療ケア	行動援護対象者	放課後デイ	発達支援	利用者合計
人数	8	1	23	3	35 人

③ 18 歳未満 (第 2 発達支援センター)

放課後デイサービス (定員 20 名)・児童発達支援 (定員 18 名)

	放課後デイ	発達支援	利用者合計
人数	26	54	80 人

合計 139 名

(4) 平成 28 年度 事業別延べ利用者数・事業収入・人件費・人件費比率
別紙資料①を参照

4. 監事による監査の実施について

平成 28 年度に 4 回実施し、適切に実施され所要の報告がなされています。

	実施日	監査内容
第 1 回	5 月 19 日	H28. 1. 1～H28. 3. 31 迄の業務執行の状況及び財産の状況 H27 年度決算監査
第 2 回	8 月 9 日	H28. 4. 1～H28. 6. 30 迄の業務執行の状況及び財産の状況
第 3 回	10 月 25 日	H28. 7. 1～H28. 9. 30 迄の業務執行の状況及び財産の状況
第 4 回	1 月 25 日	H28. 10. 1～H28. 12. 31 迄の業務執行の状況及び財産の状況

5. 平成 28 年度の事業計画の検証について (重点施策)

(1) 経営基盤及び経営組織の強化

① 法人本部及び各事業運営機能の充実と組織の見直し

「えがお」の生活介護事業移行の準備として少人数制のグループ化の導入をし、情報の共有化・スピード感ある課題等への対応を目指す為、ユニットリーダー、副リーダー制の導入をしました。また、新たに部長職を創設し、縦割りの組織改革を試みましたが、途中で連携がうま

く行かず職員間トラブルとなり、いったん中止をし、従前の縦割りの組織体系の現場中心主義に戻さざるを得ない1年となりました。

人事については、それぞれ適材適所を目標として進めてきましたが、なかなか難しさがああり、他法人への研修を行うなど、意識改革や組織体系の在り方を見直す等取組を進め、年度末にかけ情報の共有の在り方等一定の成果を上げる事が出来ました。

更に、法人本部の体制を拡充・強化するため、総務担当者（課長職）を1名を配置したことにより、新規事業に伴う申請・建築・入札等の対応や、社会福祉法の改正に伴う定款変更等の規程整備等を迅速かつ的確に行うことが出来、法人本部体制に大きな成果を感じました。

会議開催の状況

開催日	会議名	主な議題	職員	理事
h 28. 4. 11	リフト研修	・入浴リフトの使い方	8	
H28. 4. 19	放デイ・発達合同会議	・ケース会議（12名） ・春休みの反省について	8	
h 28. 4. 19	ワルツ会議	・ケース会議（2人）	7	
h 28. 4. 29	エットミーティング	・リーダー業務について・ユニットについて	5	
h 28. 4. 29	Dエットミーティング	・ケース会議（3名）、活動について	2	
h 28. 5. 4	Dエットミーティング	・ケース会議（3名）	2	
h 28. 5. 6	Aエットミーティング	・ケース会議（2名）	2	
h 28. 5. 6	Cエットミーティング	・ケース会議（8名）	2	
h 28. 5. 10	エットメンバー会議	・組織改革について、夏祭りについて他	16	
h 28. 5. 12	Cエットミーティング	・ケース会議（2名）	2	
h 28. 5. 13	Aエットミーティング	・ケース会議（4名）	1	
h 28. 5. 13	Dエットミーティング	・ケース会議（3名）、ヒヤリハット報告	2	
h 28. 5. 14	Dエットミーティング	・ケース会議（5名）、活動内容の見直し	2	
h 28. 5. 17	AD 合同エット会議	・ケース会議（8名）	4	
h 28. 5. 17	ワルツケース会議	・ケース会議（2名）	6	
h 28. 5. 17	かのんケース会議	・ケース会議（6名）	3	
h 28. 5. 17	CD 合同エット会議	・ケース会議（3名）	11	
h 28. 5. 18	Aエットミーティング	・ケース会議（4名）	1	
h 28. 5. 19	統括会議	・研修予定について、今後の現場について	2	
h 28. 5. 19	Cエットミーティング	・ヒヤリハット事故報告について、ケース会議（2名）	2	
h 28. 5. 20	Dエットミーティング	・ヒヤリハット事故報告について、ケース会議（2名）	2	
h 28. 5. 25	障害者差別解消法について	・障害者差別解消法について	29	1
h 28. 5. 26	ぽこあぽこケー	・ケース会議（5名）	6	

	ス会議			
h 28. 5. 27	エユニットミーティング	・ケース会議（8名）、ヒヤリハット報告他	2	
h 28. 5. 27	Dユニットミーティング	・ケース会議（3名）、その他	2	
h 28. 5. 27	Cユニットミーティング	・ケース会議（8名）	2	
h 28. 6. 21	放デイ・発達合同会議	・ケース会議（5名）、夏休みについて	4	
h 28. 7. 5	夏祭り会議	・ゲーム担当者打合せ	6	
h 28. 7. 15	夏祭り会議	・ゲーム担当者打合せ	6	
h 28. 7. 19	全体会議	・全体連絡事項	17	
h 28. 7. 19	CDユニット会議	・ケース会議（4名）	11	
h 28. 7. 19	放デイ・発達合同会議	・連絡事項・学校訪問報告（6名）・その他	3	
h 28. 7. 21	ぽこあぽこケース会議	・ケース会議（1名）・夏祭りについて・焼肉会について	6	
h 28. 8. 2	夏祭り会議	・担当割り確認、スケジュール確認	16	
h 28. 8. 5	夏祭り会議	・ゲーム担当者打合せ	5	
h 28. 8. 25	放デイ会議	・活動内容について	4	
h 28. 8. 25	成年後見制度について	・成年後見制度について	29	
h 28. 8. 25	夏祭り会議	・夏祭りの反省	28	
h 28. 8. 25	言語指導会議	・言語指導時の様子、今後のスケジュール	12	
h 28. 8. 25	ユニット合同会議	・各ユニットより報告	10	
h 28. 9. 6	放課後等デイ会議	・連絡事項 ・ケース会議（4名） ・療育について	4	
h 28. 10. 4	クリスマス会会議	・クリスマス会について	18	1
h 28. 10. 13	放課後等デイ会議	・連絡事項 ・ケース会議（6名） ・療育について	4	
h 28. 10. 13	ケース会議	・ケース会議（1名）	4	1
h 28. 10. 13	担当者会議	・ケース会議（1名）	2	1
h 28. 10. 18	かのん会議	・夜勤について	5	
h 28. 10. 20	かのん会議	・ケース会議（2名）	6	
h 28. 10. 27	常勤会議	・ユニット間のかかわり等	8	
h 28. 10. 27	全体会議	・クリスマス会について ・えがおに関する会議	21	1
h 28. 11. 7	クリスマス会	・Bチーム衣装について	5	
h 28. 11. 10	ケース会議	・ケース会議（1名）	6	1
h 28. 11. 15	全体会議	・クリスマス会について	17	

h 28. 11. 15	常勤会議	・会議の件・土曜日の外出について	8	
h 28. 11. 15	ワルツ会議	・ケース会議 (2名)	6	
h 28. 11. 15	かのかん会議	・ケース会議 (2名)	4	
h 28. 11. 18	クリスマス会	・衣装の確認、練習	4	
h 28. 11. 21	クリスマス会	・衣装打ち合わせ	10	
h 28. 11. 22	デイ	・保護者面談の報告・ケース会議	5	
h 28. 11. 24	ぽこあぽこ会議	・ケース会議 (5名)	6	
h 28. 12. 6	全体会議	・虐待講習・クリスマス会について	33	
h 28. 12. 20	ワルツ会議	・ケース会議 (2名)	4	
h 28. 12. 20	かのかん会議	・ケース会議 (1名)	3	
h 28. 12. 22	ぽこあぽこ会議	・ケース会議 (3名)	5	
h 28. 12. 27	常勤会議	・新規通所者について・えがおについて	10	1
h 28. 12. 28	ケース会議	・ケース会議 (12名)	4	
h 29. 1. 10	常勤会議	・除菌水について・えがおの活動グループ分け	10	1
h 29. 1. 17	デイ	・冬休みの反省	6	
h 29. 1. 27	デイ	・今後の方針について・職員配置について	13	1
h 29. 2. 8	デイ	・4月からの新体制の説明	7	
h 29. 2. 13	常勤会議	・えがおの活動利用者の割り振り	9	1
h 29. 2. 14	ワルツ会議	・ケース会議 (2人)	6	
h 29. 2. 14	かのかん会議	・ケース会議 (3人)	3	
h 29. 2. 16	ぽこあぽこ会議	・ケース会議 (1人)	6	
h 29. 2. 22	日中・居宅会議	・講習会・ケース会議 (7人) ・えがおについて	18	1
h 29. 3. 1	常勤会議	・えがお作業振り分け	8	
h 29. 3. 2	常勤会議	・えがお作業振り分け	8	
h 29. 3. 10	音きら会議	・移転準備について・人員配置について・利用者受入等について	7	1
h 29. 3. 11	常勤会議	・新年度にむけてのスケジュールの見直し他	10	1

② 経営陣としての理事会活動の充実

役員研修会や先進地法人視察、社会福祉法人経営セミナーなど、法人としての役割の認識や社会福祉法の改正（平成29年4月1日施行）に向け研究活動しました。

日付	研修・出張先	内容	人数
h 28. 5. 14~15	TKPカンファレンスセンター (札幌市)	創立20周年北海道重症心身障害児を守る記念大会	理事1名
h 28. 7. 7	東京ドームホテル札幌	28年度社会福祉法人経営者セミナー、総会	理事1名

h 28. 10. 14～17	堺市 社会福祉法人施設	先進施設、生活介護施設視察	理事 3名
h 29. 1. 25～27	ソラシティカンファレンスセンター（東京都）	28年度労務管理セミナー	理事 1名
h 29. 2. 14～16	ホテル名古屋ガーデンパレス	社会福祉法人会計実務者決算講座	理事 2名

（２） 法人としての理念/基本方針等の周知・徹底、規程等の遵守

① 理念/基本方針の職員への周知

・採用時および全体研修時、また各事業所研修及び会議においても法人の理念を冒頭挨拶に入れ周知しました。

・ホームページ上、理事長挨拶の更新回数を増やすとともに、理事長面談でも徹底しました。

② 関係法令及び法人規程等の遵守

法人定款等の変更や改正の必要性について随時、迅速に対応しました。

定款変更 1 件

規定の改正 9 件

規定の制定 3 件

（３） 総合的利用者支援の追求

① 利用者の権利擁護の堅持

法人全体会議にて、障がい利用者目線でサービスを提供する事の重要性を訴えました。

② 成年後見制度のPR

福祉サービス更新時等利用者にパンフレットの配布を行いました。また職員に対しても、全体会議で研修会を行い周知しました。

③ 虐待防止 ・セクハラ防止対策の周知・啓発

障がい者の人権擁護の立場に立てる職員育成するため、言語表出機能^{ひょうしゅつ}を失なったり、認知機能の低下等で意思表示の難しい最重度の障がいがある人たちの人権をどのように守るかをテーマに研修会等を設定しました。

④ 障害者差別解消法施行に伴い、職員及び利用者等に周知・告発

法人全体会議で研修会開催。

⑤ 相談支援事業の充実

相談支援専門員の1名増員（有資格者7名）、またスキルアップの為、各種研修会への参加を積極的に行いました。

⑥ 各種行事の拡充

地域行事への積極的な参加や夏祭り、クリスマス会等を通して地域へのアピールを行いました。また、利用者が作成した作品を異業種の店で販売し、地域での知名度アップを行いました。

⑦ 防災訓練の 実施

避難訓練・・・夜間避難訓練（かのん） 1回

夜間想定避難訓練（グループホーム） 1回

	日中避難訓練(きらきら全体)	1回
	日中避難訓練(ていくたく)	1回
救急救命講習	法人全体	1回

(8月の台風時に洪水避難指示の下、ケアホーム利用者と共に音更中学校に一時避難を行った)

- ⑧ **利用者家族との意見交換及びサービスに対するニーズ調査の実施**
理事者と利用者家族との懇談会や各事業ごとの家族面談や電話相談を開催しました。
- ⑨ **OT/ST等との連携により介助方法の学習や日常的介助の見直し**
移乗・乗降・入浴等の支援に対し、介護リフト等の導入及び医療職等との連携により、介護労働の軽減を図りました。
- ⑩ **利用者に対し働く喜びを実感してもらうための、施設内通貨等の研究**
「えがお」の落成に伴い、施設内通貨制度への導入を検討している事を利用者の家族に説明し意見交換しました。

(4) 新規事業(就労支援・生活介護)の施設整備・開設準備

① 平成28年度内、建設完了に向けての準備計画の策定と推進及び、管理監督

平成28年度内、建設完了に向けて、

4月～7月	開発行為策定の為の音更町との協議
8月	音更町と建設用地貸借契約締結 指名競争入札による建設工事請負契約締結
9月～3月	週1回 現場担当者会議に出席(大野・西田)し、工事関係者等と、課題を共有し連携を密にした。 同時に、生活介護等新規事業に関する協議を振興局(道)と行いスムーズな事業開始ができる様に書類の整備等を行った

② 開設に伴う設備等備品の購入に関する事項の決定

指名競争入札により決定

③ 新規事業移行予定利用者及び保護者に対しての説明会等の開催

事業詳細の説明会を7月29日に実施し19名の世帯の参加があった。また、3月に利用予定者(保護者)を対象に、建物等の設備・支援内容の説明を行った。

(5) 施設・設備の改善

① 施設内音響整備(補助金活用)

見積を取得したが高額の為、断念しました。

② 送迎用マイクロバス導入(補助金活用)

中央競馬馬主社会福祉財団に助成金の申請をしましたが、選外でした。

③ LED化の推進(事業所内電球を計画的にLEDにする)

照明劣化時に随時交換

(6) 人事管理の充実

① 求人对策の強化と定着率の向上

・計画的求人体制を目指したが離職の目途が立たず、結局はハローワークからの紹介や新聞広告。また、職員の紹介などに頼わざるしかなく、厳しく苦労の連続の1年でした。

・処遇改善手当の配分方法を見直し、勤務年数・雇用形態での配分格差をなくし、業務内容（早番、遅番、プール、入浴など）に応じ手厚く配分したことによって不満が一切なくなりました。

② 給与制度の適正運用

人事考課制度の導入を目指しましたが、いまいち職員のモチベーションが落ちるのではないかと、決断がつかず踏み切る事が出来ませんでした。新年度は再考したいと思います。

③ 法人を支える中堅職員の育成

積極的に研修会・先進地法人研修へ参加させました。職場改善提案を期待したい。

④ 職員の主体的研修の推進

研修会等の参加後の復命書（研修報告）は、提出されているが、その内容を職員間で広めるための体制が出来ていず、まったく不十分の状況を感じます。新年度は、研修内容に頼らず自ら困り感のあることを、小会議等で研究する体制を作る必要があります。

(7) 財産管理

① 契約の透明性の確保

新規事業に係る事業契約はもとより、すべての契約に入札による適正価格を追求し、透明性を確保しました。

② 中・長期財務計画の策定（安定的事業継続や報酬改定への対応）

新規事業など、また報酬改定の動きなどを見据えながらの一年でした。道の補助金の減額などは今後の経営上の財政運営上の、安定的事業継続に水を差されました。また、音更町の地域生活支援事業のサービス内容の改定に伴う報酬減を見越して、個別対応を少なくする支援体制をとってきました。

③ 経費削減（水道光熱費等無駄な費用を見直し、ランニングコストの最適化に努める）

各事業所において、節電・節水・事務書式の改善等まだまだ十分な徹底がなされておらず、残念な思いでした。

(8) 事業経営の透明性の推進

① 事業経営状況等のホームページ等による公表の充実

ホームページの管理委託を行いました。（月1回の更新）

② 会計事務所による監査を毎月及び決算期に受ける

毎月経理の集計が終わった段階で、会計事務所に試算表等の確認を行っていただきました。平成28年度の決算に際して、帳簿・預金残高等監査業務を行っていただき、平成29年6月6日に決算時財務表の提示を受けました。

6 財務

初めに、資金収支計算書（資金状況）です。

事業収入においては、予算額 221,704,278 円に対し、実績額 222,846,980 円執行率 100.5%、前年対比 99.2%となりました。

事業活動支出計は予算額 200,356,659 円に対し実績額 198,671,267 円執行率 99.2%、前年対比 103.0%となっています。執行残は 1,685,392 円となり、H27 年度決算時執行残（4,712,407 円）に比較すると、適正なる予算管理のもと、経費の支出ができたものと考えます。

今後も適切な予算配分及び補正予算等を行い予算統制の考え方を十分理解したうえで、財産管理を行います。

つぎに、施設整備等における収支です。

施設整備等収入においては、予算額 153,189,000 円に対し、実績額 153,336,500 円執行率 100.1%となっています。

主な内訳は、地域サポートセンター建設資金の 150,000,000 円の長期借入（福祉医療機構より 2 年据置・20 年償還）、訓練用階段購入費補助 250,000 円（はるやま財団）、食品乾燥機購入補助 860,000 円（みずほ福祉助成財団）、介護用リフト・特殊浴槽購入助成 2,226,500 円（北海道労働局）となっています。

施設整備等支出は、予算額 258,557,514 円に対し、実績額 257,261,553 円執行率 99.5%、となりました。

主な内容は、機械及び装置取得支出（¥7,214,400）として、食品乾燥機購入費 961,200 円（えがお拠点）、厨房機器購入費 6,253,200 円（えがお拠点）、車両リース満了に伴い車両運搬具取得支出 426,390 円（福祉拠点）、その他の固定資産取得支出として車両買取に伴うリサイクル料 13,280 円（福祉拠点）、器具及び備品取得支出（¥7,082,546）として、介護用リフト購入費 538,000 円（えがお拠点）、特殊浴槽購入費 3,969,000 円（えがお拠点）、歩行訓練用階段購入費 408,240 円（えがお拠点）、事務用机等家具類 2,167,306 円（えがお拠点）、建設仮勘定取得支出（¥239,292,980）として、開発行為許可申請等で 1,117,500 円（えがお拠点）、建物・構築物・建物付属設備等取得関係費 237,600,000 円（えがお拠点）、その他申請手数料等 575,480 円（えがお拠点）となりました。

法人全体ですが、当期単年度で前年比-98.6%の-81,351,340 円、前期までを含めた翌期への繰越資金残高は、53,951,946 円となっております。

事業活動だけでみると資金収支差額は 24,175,713 円であります。当期単年度でマイナスとなった要因といたしましては、施設整備における資金収支差額が-103,925,053 円となっているのが主な要因です。これは平成 27 年度末において確定しておりました地域サポートセンターえがおの建設費用として十勝総合振興局からの**施設整備補助金 69,300,000 円を未収補助金として前期のうちに計上したのが**一点と、当期において、えがおの建物その他器具備品等、施設整備にかかった費用を計上したためであります。ですので、事業活動の維持継続には影響はありません。

次に、事業活動計算書（利益状況）です。

法人全体で当期単年度、前年対比 61.5%の 13,981,994 円で、前年度より約 870 万円の減益となりま

した。

サービス活動収益は前年対比-1,862,000円の218,365,785円となり、主な要因として、居宅介護事業-700万円（行動援護・身体介護の報酬単価の大きい利用者1名減）短期入所事業+200万円（利用者の増加・29年度は短期入所⇒グループホーム入所にサービス変更）発達支援事業-400万円（利用者の年齢上昇に伴う放デイへの移行）放課後等デイサービス+640万円（発達支援からの移行・延利用者数の増加・重症心身デイ）日中一時支援事業-200万円（音更町の報酬単価の減額変更）となっております。

サービス活動費用は前年対比103.4%の207,045,291円となり、主な要因は人件費+5,281,000円（職員数の増減については前年と比べ大きな変動はありませんが、パート・準社員等から正社員への登用による一人当たりの金額が増加）となっております。人件費の増加につきましては前年度からの要点であり、人件費割合（別紙資料①）につきましては今後も引き続き、経営に直面していく課題となります。

法人全体といたしましては、減収減益となっておりますが、日中一時支援事業の報酬単価の減額など、今期決算の数字にも表れておりますように、近年における報酬単価の減額やサービス区分の変更など、目まぐるしく変化する社会福祉法に対応すべく、地域サポートセンターえがおが開設されました。えがおの減価償却費等々につきましては、事業の開始が4月に入ってからとなっておりますので、当決算には影響しておりません。その分、現在の進行年度以降において設備投資による影響が数字として表面化する決算となることが予想されます。この設備投資に対応した地域へのサービス提供が当法人の役割となっていきます。

会計面におきましては、新しくWAM NET(社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム)の稼働や、社会福祉充実残額の算定等に対応し、当法人の運営の透明性の確保と国民に対する説明責任を果たしてまいりたいと思います。

7. 利用者むけ開催した主な行事

利用者向けに開催した主な行事は以下の通り。

月日	内容	場所	参加利用者数
4月 1日	通所式	当法人	18人
7月 21日	ケアホーム合同食事会	すまいるキッチン	13人
8月 6日	きらきら夏祭り	当法人	30人
10月 26日	そば打ち	当法人	21人
12月 17日	クリスマス会	福祉センター	44人
1月 12日	成人の祝い	当法人、焼肉だいちゅ園	12人

8. 職員研修

月日	内容	主催	職員	理事
4/1～3	社内研修	当法人	1	
4/11	リフト研修	当法人	8	
4/30.5/1	PECSレベル1ワークショップ	ピラミッド教育	3	
5/24.25	CSPフォローアップ研修	麦の子	1	
5/25	障害者差別解消法	当法人	29	1
5/27	十勝地区言語障害児教育研究協議会研修	言語障害児教育研究協議会	1	
6/13	障害支援区分認定調査員研修	音更町保健福祉部福祉	1	
6/21.22	コモンセンス・ペアレンティング講座	麦の子	2	
6/22.23	強度行動障がい支援者養成研修・実践編	はるにれの里	1	
6/22.23	相談支援従事者研修・前期	北海道地域ケアマネジメントネットワーク		1
6/29	安全運転講習・虐待講習	当法人	24	
7/16.17	北海道強度行動障がい支援者養成研修	帯広福祉協会	2	
7/19.20	SST講習会	ピラミッド教育	3	
8/1	リスクマネジメント研修	北海道社会福祉協議会	1	
8/2～4	相談支援従事者研修・後期	北海道地域ケアマネジメントネットワーク		1
8/3.4	障がい児保育担当保育士研修	北海道社会福祉協議会	1	
8/17～19	北海道発達支援管理責任者研修	北海道地域ケアマネジメントネットワーク	1	
8/25	成年後見人制度	当法人	29	
8/26	十勝地区言語障害児教育研究協議会研修	十言研	1	
8/29	発達支援講演会	幕別町発達支援センター	5	
9/17.18	SST研修ペアレントトレーニング	ピラミッド教育	1	
9/24.25	北海道行動援護従事者養成研修・前期	北海道地域ケアマネジメントネットワーク	2	
10/1.2	北海道強度行動障がい支援者養成研修	帯広福祉協会	2	
10/6～21	施設研修(光り園)	当法人	8	
10/13	排泄ケアにおける感染予防について	当法人	27	
10/15.16	北海道行動援護従事者養成研修・後期	北海道地域ケアマネジメントネットワーク	2	
10/19.20	相談支援従事者研修	北海道地域ケアマネジメントネットワーク	1	

11/9～11	北海道児童発達支援管理責任者研修	北海道地域ケアマネジメントネットワーク	1	
11/10	発達支援専門研修	コードモックル	1	
11/12	自閉症スペクトラム講演会	自閉症協会	1	
11/16	施設見学・ぶりんぐ	当法人	2	
11/18	十勝圏域障がい福祉従事者フォローアップ研修	十勝障がい者総合相談支援センター	2	
11/23	発達支援講演会	幕別町	1	
11/26	発達障がいと身体の発達～作業療法の視点から	自閉症協会	3	
12/6	虐待講習	当法人	34	
1/28.29	行動援護従事者養成研修(フォローアップ研修)	北海道地域ケアマネジメントネットワーク	2	
12/21.22	北海道サービス管理責任者	きなはれ	1	
2/15.16	相談支援従事者研修	北海道地域ケアマネジメントネットワーク	1	
2/18.19	行動援護従事者養成研修・前期	北海道地域ケアマネジメントネットワーク	2	
2/21	介護ロボット普及モデル事業研修会	北海道社会福祉協議会	1	
2/23	十勝圏域障がい者虐待防止・権利擁護研修	十勝総合振興局	2	
3/4.5	行動援護従事者養成研修・後期	北海道地域ケアマネジメントネットワーク	2	

9. 地域社会への貢献

① 地域活動の推進

地域の中で私たちの事業所を認識してもらうことを第一の目的に、各種交流事業、夏祭りやクリスマス会など、法人の行事を町内会等へ案内し、参加を得てきました。また、平成27年度同様に日中活動の中で地域清掃に取り組み、地域社会の一員としての役割を自覚しています。

今後も、地域の行事に積極的に参加し地域の中での認知度をあげていきます。

月日	内容	場所	参加人数
8月8日	きらきら夏まつり	施設敷地内全部	250名
10月26日	そば打ち交流	はぐ	45名
12月19日	クリスマス会	音更福祉センター	200名

② 地域福祉人材育成

夏祭り・クリスマス会の開催時に、帯広大谷短期大学生ボランティアを募り、運営に協力してもらうとともに、利用者とも触れ合うことができました。利用者との交流を主に、事業所の概要・サービス等を体験してもらい、平成28年度新入社員として1名が入社するきっかけとなりました。

更に、帯広大谷短期大学の介護実習先として2名の実習生の受け入れを行い、普段の業務を実

際に体験してもらう環境を整えました。介護を目指す学生の中で認知度をあげることが人材確保の面からも必要な事だと考えます。

又、音更町の自立支援協議会の一員となり、地域の福祉関係者との懇談や各法人との交流を行っています。

③地域等からの支援

当法人への様々な支援を頂いています。

寄付金については17件301,130円、タオルおむつ、ジュースなどの物品寄付が3件と、地域の方々より多くの善意を頂いているところです。

また、今年度も交流事業の一つとして、音更蕎麦研究会の方々がそば打ち体験、高齢者大学ボランティア研究部や近隣町内会の方々もボランティアで来てくださり、さらに理事の後藤良勝氏には施設内の除雪に関しボランティアで行ってもらっていることにも、深く感謝の意を表します。

10. 役員・職員配置

(1) 本部 理事7名 評議員15名 監事2名

(2) 事業

①職種別職員数

職種	正職員		準職員		嘱託職員		再任用職員		パート職員		合計	
	年度初	年度末	年度初	年度末	年度初	年度末	年度初	年度末	年度初	年度末	年度初	年度末
介護福祉士	11	11	4	4					2	2	17	17
ヘルパー1級			1	1							1	1
ヘルパー2級	1	2	3	4	2	2			4	3	10	11
保育士	7	7	1	2							8	9
看護師、言語聴覚士 作業療法士 教員資格保有者	1	0			2	0			4	3	7	3
栄養士	1	1									1	1
世話人、夜間支援員 調理員、運転手					8	8			10	9	18	17
事務員	1	1							2	2	3	3
合計	22	22	9	11	12	10	0	0	22	19	65	62

②職員採用

区分	採用年月日	職種	処遇	採用理由
処遇変更	4月1日	ヘルパー2級	正職員	準職員から登用
採用	4月1日	保育士	正職員	保育士増員

採用	7月11日	ヘルパー2級	準職員	介護員増員
採用	8月1日	保育士	正職員	保育士増員
処遇変更	9月1日	ヘルパー2級	準職員	非常勤から登用
採用	9月5日	保育士	準職員	保育士増員
採用	9月22日	夜間支援員	非常勤	夜間支援員増員
採用	1月9日	介護福祉士	非常勤	介護員増員
採用	1月11日	世話人	準職員	世話人増員
採用	1月17日	介護員	非常勤	介護員増員
採用	3月1日	言語聴覚士	非常勤	言語聴覚士増員

③退職

区分	退職月日	職種	処遇	理由
退職	4月7日	ヘルパー2級	非常勤	自己都合
退職	5月23日	看護師	正職員	自己都合
退職	6月30日	保育士	正職員	自己都合
退職	7月31日	介護福祉士	非常勤	自己都合
退職	7月31日	教員	非常勤	自己都合
退職	9月30日	運転手	非常勤	自己都合
退職	11月20日	介護福祉士	準職員	自己都合
退職	1月20日	看護師	非常勤	自己都合
退職	3月31日	看護師	非常勤	自己都合
退職	3月31日	保育士	正常勤	自己都合
退職	3月31日	介護福祉士	正常勤	自己都合
退職	3月31日	世話人	嘱託職員	契約期間満了

※平成29年6月10日現在

	入社人数	退職人数
29年4月	6名	
29年6月	2名	2名
29年7月	2名(内定済)	

10 職員交流

日付	内容	場所	人数
4月25日	歓迎会	食歓場	36名
12月9日・10	観楓会	第一ホテル	58名

11 平成28年度事故報告

別紙資料③